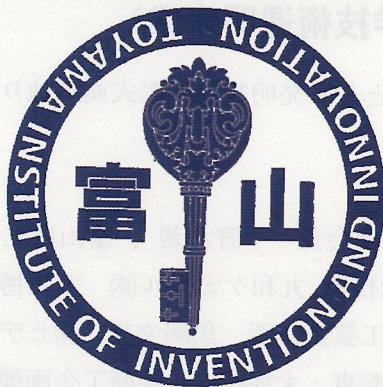


Toyama Institute of Invention and Innovation



一般社団法人富山県発明協会 設立総会

協会だより

NO.1 4月号

とやま

一般社団法人 富山県発明協会

〒933-0981 高岡市二上町 150

富山県工業技術センター技術開発館内

TEL 0766-27-1150 FAX 0766-25-0923

◆ 第12回とやま発明賞表彰式の開催（科学技術週間事業）	1
◆ 少年少女発明クラブ懇談会の開催（科学技術週間事業）	4
◆ 一般社団法人富山県発明協会設立総会、理事会の開催	4
◆ 富山県発明協会創立70周年並びに一般社団法人富山県発明協会発足記念祝賀会	5
◆ 第49回富山県発明とくふう展実行委員会の開催	9
◆ 平成23年度少年少女発明クラブ審査会の開催	10
◆ 第31回ワンパク発明教室の開催	11
◆ 平成23年度上期理事会の開催	11
◆ 第49回富山県発明とくふう展並びに第20回未来の科学の夢絵画展の開催	12
◆ 第49回富山県発明とくふう展並びに第20回未来の科学の夢絵画展表彰式を県民会館にて挙	13
◆ 中部地方発明表彰式の開催	18
◆ 第24回大谷科学賞表彰式	18
◆ 平成23年度富山県発明実施化奨励金交付審査会	20
◆ 平成23年度下期理事会の開催	20
◆ 特許等取得活用支援事業の紹介	21
◆ 新入会員の紹介	22
◆ 平成24年度 行事と予定	22



➤ 第12回とやま発明賞表彰式の開催（科学技術週間事業）

平成23年4月15日（金）に富山県民会館で「第12回とやま発明賞」表彰式典が執り行われました。

＜出席者＞（ ）内は代理出席者名

会長 北村耕一郎、富山県商工労働部長 荒木勝、当協会副会長 平野治親、富山県工業技術センター企画管理部長 二口友昭、(株)カイスイマレン 能松豊、丸和ケミカル(株) 木田博之、五洲薬品(株) 藤井良伸、横山冷菓(株) 柚木正則、(有)黒崎金属工芸製作所 黒崎文忠、(株)ヒデミツ 満岡昇、富山大学芸術文化学部教授 松原博、県商工労働部参事 大坪昭一、県商工企画課新産業科学技術班長 中川英樹、(株)タカギセイコー 高木章裕、東洋道路工業(株) 長橋孝次、(株)やぶうち商会 野崎齊治、五洲薬品(株) 北川勝敏、県商工企画課主幹 高林外広、同主任 浦上晃
祝辞：石井隆一（代読 荒木勝）

式典では、北村会長の挨拶の後、賞の贈呈に移り、(株)カイスイマレン代表取締役社長の能松豊氏に県知事賞と高木特別賞並びに発明協会のカギが彫刻された楯が、また他の5名の方々にも賞状と盾が授与されました。その後富山県知事代理として出席いただきました荒木勝富山県商工労働部長から知事祝辞をいただきました。式典終了後、全員で記念写真を撮り、受賞者はその後各新聞社の取材に応じました。



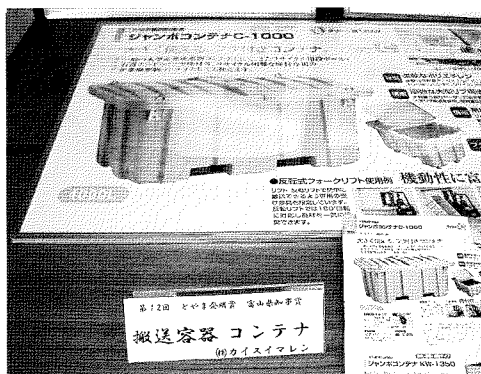
当協会では独自事業として県内における中小企業で、優秀な発明考案を完成された方々の功績を称えるとともに、創造性の啓発助長と実用化を推進するため、平成12年から「とやま発明賞」を設けています。本年度は平成23年3月15日に富山県民会館で開催された選考委員会で10件の候補の中から下記の5件が選ばれ、今回表彰を行ったものです。

第12回とやま発明賞発明課題と受賞者

◎富山県知事賞、高木特別賞 『搬送容器 コンテナ』

(特許第 4232076 号) (意匠第 1278721 号)

(株)カイスイマレン 代表取締役 能松 豊



野菜、魚肉など生鮮食料品等を大量に輸送する大型のプラスチック容器として開発されたもので、従来よりもトラックへの積み降ろしや内容物の移し替えが簡単、容易になるよう工夫された。

トラックへの積み降ろし時には、クレーンでの作業がし易いよう吊り上げよう穴を開け、排出時には反転式フォークリフトで回転出来るよう、下部にリフト差し込み口を設けた。

◎富山県発明協会会長賞 『土嚢袋』



(実案第 3083868 号) (意匠第 1239462 号)

丸和ケミカル(株) 専務取締役 木田 博之

都市型水害時等に有効な土嚢袋であり、不織布を縫製し、袋体とし、内部に吸水性ポリマーが充填されている。

使用時は、吸水性ポリマーに水を吸収させて袋体を立体的に膨張させ、更に孔に通したヒモにより連続した土嚢を結び一体化して、水の浸入を防ぐ壁を構築し、水害を防止する。

保管時には、袋体を折りたたんで平面上にし、積み重ねて大量に保管することが出来る。

◎富山県発明協会会長賞 『冷菓』



(特許第 3994339 号)

(株)五洲薬品 代表取締役 藤井 侃

横山冷菓(株) 代表取締役 横山 栄

富山湾深層水を用い、多段式電気透析処理法並びに脱水分離等により得られた濃縮塩を用い冷菓(アイスクリーム、ソフトクリーム等)

海水含有の豊富なミネラルを含み、後味もすっきりとした冷菓となった。

◎富山県発明協会会長賞 『墓用ろうそく立て』



(実案第 3142054 号)

(株)黒崎金属工業製作所 代表取締役 黒崎 文忠

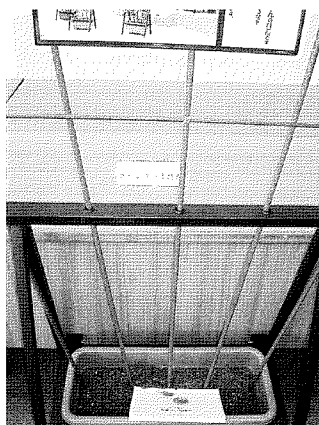
これまでの多くの墓は、防風筒のないローソク立てが設置されているが、ローソクの火が付きにくく、またすぐ消えるという不便さがあった。

この考案は、既設のローソク立て基台をそのまま使用し、防風筒を自在に後付けし、また取り外すことも簡単で、清掃もしやすい。

◎富山県発明協会会長賞 『プランター支持台』

(特許第 2742403 号)

(株)ヒデミツ 代表取締役 満岡 昇



一対の支持フレームの間に支持された枠体でプランターを地面から浮かせた状態で保持し、プランターの重量が各脚に均等にかかり、風等にも安定である。

両支持フレームの上部に取り付けた穴を開けた横杆に支柱を通し、プランターに埋め込めば、野菜の蔓等をしっかり支えることが出来る。

【北村会長挨拶】 要旨

桜花爛漫のこの季節に、栄えある賞の祝辞を述べる事は、大変意義深いことと存じます。

しかしながら、去る3月11日に発生した東日本大震災における、死傷者、行方不明者の2万8千人に及ぶ方々に対して、ここに、深い哀悼の念を表すると共に、被災された多くの人々に対して、心よりお見舞いを申し上げます。

本賞は、先に開催されました選考委員会において決定した6名の方々に表彰を行うものであります。受賞者の皆様に対し、心からお祝いを申し上げます。

本賞が設定されましたのは、我が国において、明治18年、つまり西暦1885年の4月18日に、現行の特許法のもとである「専売特許条例」が公布されました日を記念といたしまして、毎年4月18日を「発明の日」と定めて、この日を含む前後1週間を「科学技術週間」として、全国で発明関連の各種行事を催しているものであります。

私共、富山県発明協会といたしましては、県内の中小企業において発明考案された優秀な案件の中から、その実施効果の顕著なものをたたえ、一層の創造性の向上と実用化を促すことを目的として、本「とやま発明賞」の表彰事業を、高木発明賞を引き継ぐ形で、平成12年から行っているものであります。

本賞の創設以来、今日まで受賞された方々の中には、受賞作品が、その企業の主要製品となって成功されているものも数多くあります。

当発明協会におきましては、本賞をはじめ、「発明とくふう展」などを開催し、発明や特許取得などの知的財産の活用の向上に努め、本県における産業並びに教育の発展に寄与しようとするものであります。本日受賞されます皆様には、本賞受賞を機に、ますます研鑽を積まれまして、一層の知的財産の効用に努められ、各位の企業が発展されますことを祈念するものであります。

富山県を始め、本賞の運営にご支援、ご協力を賜りました皆様方に対し、感謝申し上げますと共に、ご列席の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、ご挨拶といたします。

▶ 少年少女発明クラブ懇談会の開催（科学技術週間事業）

4月19日（火）、富山県民会館において、平成23年度少年少女発明クラブ懇談会を開催しました。

<出席者>

副会長 平野治親、発明クラブ統括指導員 里幸夫、同 池田紅子、福光少年少女発明クラブ 赤池伸彦、高岡少年少女発明クラブ 助野寛子、同 五十里祐子、砺波市少年少女発明クラブ 南健一、同 水木護、県商工企画課主任 浦上晃

「とやま発明賞表彰」と並んで「科学技術週間」の協賛行事の1つとして開催している当クラブ懇談会は平野副会長の挨拶の後、第1議題「少年少女発明クラブ運営・情報交換等について」第2議題「今後の問題点と要望事項」第3議題「平成23年度少年少女発明クラブ関係事業、その他」について、日頃クラブ運営に携わっておられる指導者の方々と忌憚のない意見交換が行われました。

▶ 一般社団法人富山県発明協会設立総会、理事会の開催

6月7日（火）、ANAクラウンホテルプラザ富山にて一般社団法人 富山県発明協会設立総会、理事会を開催しました。

<理事会 出席者>

【会長】北村耕一郎【副会長】平野治親、森政雄、米田祐康、荒木勝

【常任理事】本林敏功、佐々裕成、阿見秀一、杉野芳宏、武内繁和、木村準、北村彰浩、田中一郎、木田博久、菅田益司、恒田勇、宮田信道、廣澤勲【理事】村井史朗、宮本次郎、吉田保雄、長田宏泰、二口友昭、大谷嘉一、小林陽一、開口宗昭【監事】嶋田庫三

【専務理事】今井恵一



<総会 出席者>

総会出席会員数154名（内訳 出席者76名 委任状提出者 78名）

理事会では北村会長の挨拶の後、定款第29条により会長が議長を務め、開会に先立ち事務局が理事の現在数35名中出席者28名で定款30条の理事会の成立要件を満たしていることを報告し、議事録署名人として会長、嶋田監事を選任し議事に入りました。

議事では、第1号議案「一般社団法人富山県発明協会発足に関する経過報告」、第2号議案「平成23年度事業計画および同収支予算案の件」、第3号議案「一般社団法人富山県発明協会役員

案の件」、第4号議案「一般社団法人富山県発明協会会費規程案を定めるの件」、第5号議案「一般社団法人富山県発明協会入会及び退会規程案を定めるの件」が審議され何れも原案の通り承認されました。

設立総会では、北村会長の挨拶の後、定款第15条により会長が議長を務め、開会に先立ち、事務局より総会には出席者76名、委任状提出者78名があり、会員総数162名に対して2分の1以上の出席があり定款第16条の総会の成立要件を満たしていることの報告がありました。議長は審議に入る前に、議事録署名人として広澤勲常任理事、二口友昭理事の2名を選任し、議事に移りました。議事では先の第5号議案まで審議され、何れの議案も承認されました。

➤ 富山県発明協会創立70周年並びに 一般社団法人富山県発明協会発足 記念祝賀会

6月7日（火）17時よりANAクラウンプラザホテル富山3階鳳の間にて社団法人発明協会富山県支部創立70周年並びに一般社団法人富山県発明協会設立記念祝賀会が石井富山県知事、川田社団法人発明協会理事長他多数の御来賓の御出席のもとに盛大に開催されました。



<祝賀会 出席者>

【来賓】富山県知事 石井隆一、社団法人発明協会理事長 川田洋輝、東京中小企業投資育成株式会社代表取締役社長 荒井寿光、北陸経済連合会元会長 山田圭藏、北陸経済連合会特別顧問・北陸電力相談役 新木富士雄、三協・立山ホールディングス株式会社取締役社長 要明英雄、富山県工業技術センター所長 榎本祐嗣、一般社団法人愛知県発明協会会長 石丸典生、一般社団法人三重県発明協会会長 服部醇、富山市副市長 老月邦夫、高岡市副市長 林時彦、富山県教育委員会教育長 寺林敏、株式会社富山銀行相談役 高柳卓三、株式会社北日本新聞社代表取締役社長 河合隆、富山新聞社代表 宮本佐智夫、富山大学元教授 吉川和男、公益社団法人富山県教育会事務局長 尾島隆保

【役員】46名【会員】62名

祝賀会であいさつする北村会長（右）＝富山市内のホテル



70周年、社団法人設立祝う

県発明協会 会長に北村氏

10月に「科学の夢絵画展」

発明協会富山県支部の創立70周年と一般社団法人富山県発明協会の設立を記念した祝賀会は7日、富山市のA

NAクラウンプラザホテル富山で開かれ、約130人が節目を祝った。祝賀会に先立ち、設

立総会が開かれ、10月29、30日に富山市の富山市民プラザで、第20回富山県未来の科学の工夫で日本の再構築に貢献したい」とあいさ

つ。川田洋輝発明協会理事長、石井隆一知事、元特許庁長官の荒井寿光東京中小企業投資育成社長が祝辞を述べ、森政雄副会長の発声で乾杯し、懇談した。山田圭藏北陸経済連合会元会長、新木富士雄北陸電力相談役、宮本佐智夫富山新聞社代表らが出席した。

富山が一番発明に熱心

祝賀会では、元特許庁長官の荒井氏が、高岡生まれの化学者、高峰譲吉博士らを引き合いに「一番発明に熱心なのは富山県だ」と語る場面があった。

高峰博士ら引き合いに 元特許庁長官の荒井氏

物としたうえで、後に内閣総理大臣を務める高橋是清の下で当時の特許庁ナンバー2として活躍したことなどを紹介し、「日本人で世界で初めて認められた化学者だった」と指摘した。

利根川進氏や田中耕一氏の名を挙げ、「富山の教育熱心な風土が連綿と伝わって人類の進歩に役立っている」と述べた。

また、北村会長が約200件の発明をしていることを挙げ、「北陸のエンジンと言われ、特許庁にとっても大事なお客さんです」などと紹介し、会場を沸かせた。

△副会長 平野治親、森政雄、米田祐康、荒木勝▽専務理事 今井恵一▽常任理事 本林敏功、佐々裕成、阿見秀一、杉野芳宏、武内繁和、木村肇、北村彰浩、田中一郎、木田博久、田村友一、笠井千秋、菅田益司、恒田勇、富田信道、廣澤勲▽理事 水越靖村井史朗、高田順一、釣谷宏行、宮本次郎、吉田保雄、長田宏泰、大坪昭一、二口友昭、大谷嘉一、小林陽一、開口宗昭▽監事 嶋田庫三、戸口誠芳▽顧問 石井隆一、永原功吉、吉田忠裕、要明英雄▽常任相談役 榎本祐嗣



県商工労働部荒木勝部長による万歳三唱

祝賀会は、北村会長の挨拶で始まり、川田洋輝社団法人発明協会理事長、石井隆一富山県知事、荒井寿光元特許庁長官 東京中小企業投資育成株式会社社長から祝辞を頂きました。荒井元特許庁長官は、平成9年に「とやまテクノフェア」に於いて日本で初めて「特許流通フェア」を開催した折に、特許庁長官としてご出席された関係で今回特別招待をいたしました。森政雄副会長の乾杯で和やかに懇談し、県商工労働部荒木勝部長の万歳三唱で閉会しました。

【北村会長挨拶】

当協会は、昭和15年、全国都道府県で33番目に創立いたしまして、平成2年に50周年記念事業として、当協会の総裁であられる常陸宮、同妃両殿下をお迎えして式典を行い、県内企業の不二越、キタムラ機械の他、福祉施設等を御視察賜っております。

そして、今年、70周年を迎えることになりました。この機会に併せて、この度、一般社団法人富山県発明協会に改組して、新しい体制で従来通りの諸事業を、社団法人発明協会と連携のもとで進めてまいることとなりましたので宜しくお願ひ申し上げます。

先の、東日本大震災は、我が国に未曾有の被害をもたらしました。亡くなられた方々に対して御冥福をお祈り申し上げると共に、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

この苦難を乗り越えて、今こそ、会員一同が総力を挙げて、叡智を結集して、富山県発の、優れた物造りを行い「科学創造立県」を目指して、より一層強靱な、日本の再構築に向けて貢献してまいりたいと存じます。

これからも以前に倍する、県民の皆様の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

【川田理事長挨拶】



川田洋輝
(社) 発明協会理事長

発明協会富山県支部の創立70周年記念祝賀会並びに一般社団法人富山県発明協会設立披露に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

発明協会富山県支部は昭和15年に富山県における工業所有権の保護と発明奨励の更なる推進を目指して創立されました。その後、戦争を挟みながらも本部と連携しつつ精力的な活動を続け、以て確固たる基盤を擁する支部として諸事業を展開して来られました。こうした活動は富山県下にとどまらず、北陸地方における発明の振興、産業財産権制度の普及に大きく貢献してきたものと深く敬意を表する次第であります。

そして、本年4月、国が進める公益法人制度改革への対応から、発明協会の支部という立場を

離れ、一般社団法人富山県発明協会として、新たなスタートを切られることとなりました。当協会の常任理事を永年お願いし、また、特許を数多く保有されている北村会長を柱に、発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度の普及・啓発等に益々充実した活動を実施されていくものをご期待申し上げます。当協会としても今後も引き続き綿密な連携関係を富山県発明協会と構築し、従来にもまして様々な事業を展開していく所存でございます。

顧みますと、当協会がかねてより皇室からの格別の思し召しを賜りながら、発明の奨励、青少年の創造性開発育成事業等の諸事業の推進に力を注いで参りました。時下って、今まさに知財の時代を迎え、当協会の事業に対する関心や期待は非常に高まっており、特に将来を担う子供達への創造性開発育成事業につきましては、皆様のご協力を得ながら今後更なる振興を図っていく所存です。加えて、3月11日発生した東日本大震災からの一日も早い復興に向け、我が国は、国の発展の礎である技術開発力について、原点に立ち返って推進していくことが重要となっております。経済状況の悪化が懸念される現在のような状況におきまして、今般設立された富山県発明協会の活動への期待も大変大きく、今後のご活躍を心より願っております。

改めまして、この70年の永きに亘り、発明協会富山県支部を支えていただいた会員の皆様には深く感謝申し上げます。会員の皆様の日頃からの暖かいご協力により今日を迎えることができました。今後は富山県発明協会に対しまして今までと変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

更に、この70年間、着実に富山県支部を運営されて来られた歴代支部長、役員各位そして職員の皆様に対しまして深く敬意を表する次第であります。

最後になりましたが、本日ご出席の方々、関係各位の益々のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶と致します。

【石井富山県知事挨拶】

社団法人発明協会富山県支部の創立70周年及び一般社団法人富山県発明協会の設立を心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から県民の発明工夫思想の啓発、知的財産権制度の普及等を通じ、本県科学技術の振興にご尽力いただいております。心から敬意を表し、感謝申し上げます。

県といたしましては、貴協会と協力しながら、「富山県発明とくふう展」の開催や「青少年発明クラブ」の育成などを通じて、青少年の発明や工夫に対する関心や創作意欲の高揚を図るとともに、特許出願を支援し、発明の権利化を促進するなど、引き続き、知的財産の創造、活用に積極的に取り組んでまいります。

貴協会には、このたびの創立70周年を契機として、会員相互の結束をさらに強められ、今後とも本県産業の振興に一層のご尽力をいただきますようお願い申し上げます。

おわりに、富山県発明協会の限りないご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍、ご多幸を心からお祈り申し上げます。



石井隆一富山県知事

【荒井元特許庁長官挨拶】概要



荒井寿光元特許庁長官

高岡生まれの化学者、高峰譲吉博士らを引き合いに「一番発明に熱心なのは富山県だ」と語り、高峰博士について、特許庁の選んだ十大発明家で一番立派な人物としたうえで、後に内閣総理大臣を務める高橋是清の下で当時の特許庁ナンバー２として活躍したことなどを紹介し、「日本人で世界で初めて認められた化学者だった」と指摘しました。その上で富山ゆかりのノーベル賞受賞者である利根川進氏や田中耕一氏の名を挙げ、「富山の教育熱心な

風土が連綿と伝わって人類の進歩に役立っている」と述べました。また、北村会長が約200件の発明をしていることを挙げ、「北陸のエジソンと言われ、特許庁にとっても大事なお客さんです」などと紹介し、会場を沸かせました。

➤ 第49回富山県発明とくふう展実行委員会の開催

===今回は富山市民プラザで開催===

<出席者> ()内は代理出席者

【実行委員長】会長 北村耕一郎

【実行委員】副会長 平野治親、副会長 米田祐康、富山県工業技術センター企画管理部長 二口友昭、北日本新聞社取締役事業局長 東海龍、富山市工業政策課長 和田秀俊、高岡市産業振興部参事・産業企画課長 水上哲、富山県立大学地域連携センター所長 岡田 敏美、富山県新世紀産業機構産学官連携推進センター部長 藤城敏史、常任理事 廣澤勲、常任理事 宮田 信道

代理出席者：常任理事 佐々裕成(稲田秀人)、魚津市商工観光課長 関口斎(富居幹生)、氷見市商工観光戦略課長 干場光邦(石出忍)、砺波市商工農林部商工観光課長 黒河修光(南健一)、黒部市商工観光課長 中伸之(岩井祥吾)、富山県商工企画課長 大坪昭一(浦上晃)、富山県教育委員会県立学校課長 木下晶(吉田学)

6月16日(木)、富山県民会館において第49回富山県発明とくふう展実行委員会を開催しました。

会議には、県、各市担当者や実行委員関係者など21名の出席をいただきました。議事では第1号議案「第48回富山県発明とくふう展並びに第19回富山県未来の科学の夢絵画展事業報告」第2号議案「第48回富山県発明とくふう展並びに第19回富山県未来の科学の夢絵画展収支決算報告」第3号議案「富山県発明とくふう展審査規定並びに富山県発明とくふう展開催要項及び富山県未



来の科学の夢絵画展開催要項の一部改正について」第4号議案「第49回富山県発明とくふう展並びに第20回富山県未来の科学の夢絵画展開催計画」第5号議案「第49回富山県発明とくふう展並びに第20回富山県未来の科学の夢絵画展予算案」第6号議案「実行委員の役割分担等案」が審議され、何れも承認されました。

今回の開催場所は一昨年までと同様に富山市民プラザを会場とすることとなりました。富山市民プラザ前の大手モールにはライトレールが走っており、交通の利便性の高さから見学者が増えるものと思われたからです。

発明協会会員の皆様で出品される方にとりましては、新製品・新商品のPRの絶好の機会ですので是非共出展いただき、本展が盛大に開催するようご協力の程、よろしくお願いいたします。

今年度の開催概要等については後日、決定し次第、別途ご案内申し上げます。

➤ 平成23年度少年少女発明クラブ審査会の開催

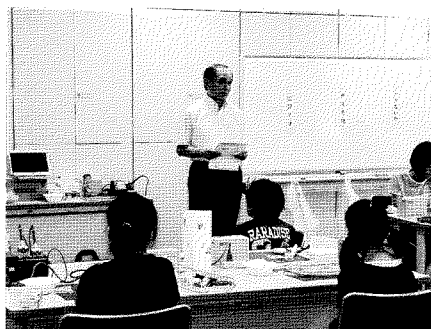
6月16日(木)、富山県民会館において、平野副会長が審査長を努め平成23年度富山県少年少女発明クラブ奨励金交付審査会を開催しました。

<出席者>副会長 平野治親、県商工企画課長 大坪昭一、発明クラブ総括指導員 里幸夫、同池田紅子

県育成クラブは本部発明協会設置クラブとは別に富山県独自に青少年の発明意欲と創意工夫の向上を目的に昭和59年から支援を行っているものです。新設クラブには活動費として初年度10万円、2年度7万円、3年目以降5万円の活動費が補助されます。

今回も新設の1クラブと継続の7クラブについて、事業計画や予算等について、審議の上何れも承認されました。

今年度は、「柳町少年少女発明クラブ」が新設され、県育成8クラブ、本部発明協会育成7クラブ、富山県発明協会育成19クラブ併せて34クラブとなりました。



◎少年少女発明クラブ

【発明協会本部育成少年少女発明クラブ】

福光少年少女発明クラブ

高岡少年少女発明クラブ

黒部少年少女発明クラブ

小杉少年少女発明クラブ

富山市少年少女発明クラブ

砺波市少年少女発明クラブ

小矢部少年少女発明クラブ

【県育成少年少女発明クラブ】

東五位少年少女発明クラブ

木津少年少女発明クラブ

白萩西部少年少女発明クラブ

陽南少年少女発明クラブ

戸出西部少年少女発明クラブ

速川少年少女発明クラブ

氷見市海浜少年少女発明クラブ

柳町少年少女発明クラブ(新設)

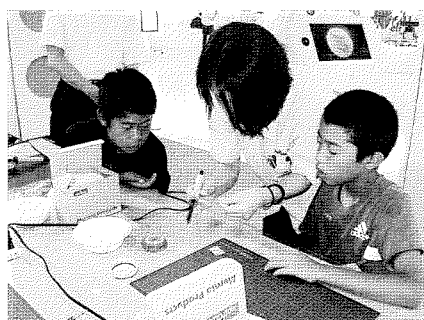
【協会育成少年少女発明クラブ】

井波少年少女発明クラブ	中太閤山少年少女発明クラブ	窪みどり少年少女発明クラブ
堀川南少年少女発明クラブ	大島少年少女発明クラブ	山室中部少年少女発明クラブ
星井町少年少女発明クラブ	古府少年少女発明クラブ	戸出東部少年少女発明クラブ
入善町少年少女発明クラブ	朝日町少年少女発明クラブ	福岡町少年少女発明クラブ
大久保少年少女発明クラブ	立山町少年少女発明クラブ	寺家少年少女発明クラブ
大谷少年少女発明クラブ	南加積少年少女発明クラブ	利賀少年少女発明クラブ
福沢少年少女発明クラブ		

➤ 第31回ワンパク発明教室の開催

8月4日（木）富山新聞高岡支社、8月5日（金）北陸電力エネルギー科学館・ワンダーラボの高岡、富山の2会場で第31回ワンパク発明教室を開催しました。

今回のテーマは、『リモコンで動くロボットをつくろう！』でした。小学4年生から小学6年生まで2会場合わせて41名が参加し、㈱富山村田製作所の社員11名の方が講師を務めました。



児童らは、はんだこてやペンチ、ドライバーなどを使って基板にLEDやリード線などの電子部品を取付け、スイッチがなく、リモコンをたたくことで左右に動くロボット「ブルブル星人&トントンリモコン」を製作しました。

ワンパク発明教室は理科の楽しさに触れ、ものづくりに関心を持ってもらおうと、毎年とやま科学技術週間内で開催しています。

➤ 平成23年度上期理事会の開催

10月19日（木）、富山県民会館にて平成23年度上期理事会を開催しました。

<上期理事会 出席者> ()内は代理出席者名

【会長】北村耕一郎【副会長】平野治親、森政雄、米田祐康【常任理事】本林敏功、阿見秀一、武内繁和、北村彰浩、木田博久、恒田勇、宮田信道、廣澤勲【理事】村井史朗、宮本次郎、長田宏泰、大坪昭一、二口友昭、大谷嘉一、開口宗昭【評議員】丹羽昇

代理出席者：副会長 荒木勝（上田順子）常任理事 笠井千秋（瀬川雅靖）、評議員 蓮池浩二（木戸平太郎）、同 本間比呂詩（津野英範）【その他】 県商工企画課主任 浦上晃

理事会では、北村会長の挨拶の後、定款第29条により会長が議長を務め、開会に先立ち事務局が理事の現在数34名中出席者18名、委任状16名、で定款30条の理事会の成立要件を満たしている



ことを報告し、議事録署名人として大坪昭一理事、大谷嘉一理事を選任し議事に入りました。

議事では、第1号議案「平成23年度上期事業経過報告」第2号議案「平成23年度上期収支報告」第3号議案「(社)発明協会富山県支部創立70周年記念事業及び決算報告」第4号議案「平成23年度下期事業計画」が審議され何れも原案の通り承認されました。

【北村会長挨拶】

本日は、皆様方には、ご多用のところ、本、理事会にご出席下さいまして、誠にありがとうございます。

日本経済は、東日本大震災により、日本の歴史始まって以来の大被害を蒙り、3月11日の発生以来、7ヶ月を経過した今日、未だに、原子力発電事故による放射能汚染の生活不安が続くなど、大変厳しい状況に置かれております。

当協会は、今年4月1日より、一般社団法人富山県発明協会となり、新たな形態で、更なる発展に向けて取り組んでいるところであります。

本年度の上期の事業については、6月7日に、社団法人 発明協会 富山県支部 創立70周年に併せて、一般社団法人 富山県発明協会設立の記念祝賀会を、130人余りの出席のもとに盛大に挙行致しました。

また、今年も例年通り、4月に、第12回とやま発明賞表彰式と、富山県少年少女発明クラブの懇談会、6月には、富山県少年少女発明クラブの審査会等を各々開催して参りました。そして8月には、今年で31回目となる、ワンパク発明教室を、例年通り、富山・高岡の両市で開催する等の事業を、昨年を引き続き行ってまいりました。また、当協会の従来からの各種委託事業に加えて、今年度より新たに、知的財産奨励を目的とする、中部経済産業局からの委託事業を推進してまいりました。

これらを通して、児童生徒の科学教育の振興に努める共に、中小企業を始め、県内企業の、技術開発支援や知的財産権の確立に向けて取り組んで参った次第であります。

本日は以上の、上期事業報告、及び下期事業計画等に併せて、創立70周年記念事業の報告をすることとしておりますので、どうか宜しくお願い致します。

簡単ではありますが、開会の挨拶と致します。

➤ 第49回富山県発明とくふう展並びに第20回未来の科学の夢

絵画展の開催

今回は『富山市民プラザ』で展示会を開催

○会期 10月29日(土)、30日(日)

9:00~16:30

○会場 富山市民プラザギャラリー



理事会では、北村会長の挨拶の後、定款第29条により会長が議長を務め、開会に先立ち事務局が理事の現在数34名中出席者20名、委任状14名、で定款30条の理事会の成立要件を満たしていることを報告し、議事録署名人として大坪昭一理事、大谷嘉一理事を選任し議事に入りました。

議事では、第1号議案「一般社団法人富山県発明協会平成24年度事業計画（案）」第2号議案「一般社団法人富山県発明協会平成24年度収支予算（案）」第3号議案「平成23年度収支計算書勘定科目の追加及び助成金の取扱いについて」第4号議案「一般社団法人富山県発明協会役員（案）」が審議され何れも原案の通り承認されました。



【北村会長挨拶】

本日は、皆様方には、ご多用のところ御出席下さいまして、誠にありがとうございます。当協会は、皆様の御協力の基に、昨年4月1日より、一般社団法人富山県発明協会となり、新たな形態で、更なる発展に向けて取り組んでいるところは、御承知の通りであります。

本年度の事業は、昨年度に引き続き、第12回 とやま発明賞表彰式、富山県少年少女発明クラブの懇談会、審査会、ワンパク発明教室、第49回 発明とくふう展、第20回 未来の科学の夢絵画展、第24回 大谷科学賞表彰式、発明実施化奨励金交付事業などの事業を開催してまいりました。加えまして、本年度より開始した、中部経済産業局からの請負事業であります、特許等取得活用支援事業をも推進してまいりました。

来年度も、残された23年度事業、本日ご審議いただきます、新年度の24年度事業についても、以前に増して御協力を宜しくお願い致します。簡単ではありますが、開会の挨拶と致します。

➤ 特許等取得活用支援事業の紹介

中部経済産業局が行う特許等取得活用支援事業を平成23年度に引き続き平成24年度も富山県発明協会が受託しました。知的財産権に関する制度の紹介、特許取得に関する諸問題などの相談にあたり、中小企業の支援と知的財産の啓蒙、普及を図ります。

◎富山・高岡知財総合支援窓口の設置

富山知財総合支援窓口	富山市高田527番地	富山県総合情報センタービル内
	富山県新世紀産業機構	中小企業支援センター2階
高岡知財総合支援窓口	高岡市二上町150	富山県工業技術センター内
	富山県発明協会内	
窓口支援担当者	富山知財総合支援窓口	石田 哲義 (いしだ てつよし)
	高岡知財総合支援窓口	河原 茂 (かわはら しげる)

➤ 新入会員の紹介

この度下記の方々が新しく当協会に入会されましたのでご紹介します。

今後も、会員増強に対し、皆さまの一層のご協力をよろしくお願い致します。

【個人会員】

石黒 孝志	高岡市中保	加門 昇造	高岡市あわら町
小橋 秀樹	砺波市高波	斉藤 善脩	砺波市本町
参納 修平	富山市婦中町	背山 法道	氷見市稲積
辻下 裕子	富山市神通本町	林 清則	小矢部市安楽寺
藤田 晃一	富山市西二俣	樋口 常光	中新川郡上市町
松井 富士夫	富山市草島新町	村中 大治	射水市安吉
横田 潔	高岡市美幸町		

➤ 平成24年度 行事と予定

開催日時	項目	開催場所
4月18日(水) 10:00～	少年少女発明クラブ懇談会	県民会館 706号室
4月18日(水) 14:00～	第13回とやま発明賞表彰式	県民会館 702号室
5月23日(水) 15:00～	理事会	ANAクラウンプラ ザホテル 4階
5月23日(水) 16:00～	通常総会	ANAクラウンプラ ザホテル 3階
5月23日(水) 17:00～	懇親会	ANAクラウンプラ ザホテル 4階
10月20日(土)、21日(日) 9:00～	第50回富山県発明とくふう展、 第21回富山県未来の科学の夢絵画展	富山市民プラザ ギャラリーA,B,C

富山県内特許事務所の弁理士が、会員皆様の特許等の出願・審判・
訴訟などのお力になります。お気軽にご相談下さい。



宮田特許事務所

弁理士 宮田 信道
弁理士 山川 正男
弁理士 倉谷 達則

〒939-8205 富山市新根塚町 2-8-2
TEL 076-423-5433
FAX 076-423-5434

大谷特許事務所

弁理士 大谷 嘉一

〒933-0023 高岡市末広町 14-45
TEL 0766-29-0860
FAX 0766-29-0861

開口国際特許事務所 富山支所

弁理士 開口 宗昭

〒939-1376 砺波市平和町 3-15
パールシティビル2階
TEL 0763-33-7760
FAX 0763-33-7765

小林特許事務所

弁理士 小林 陽一

〒933-0021 高岡市下関 1 番 16 号
ぶどうやビル 2 階
(読売会館向かいの「葡萄屋書店」の 2 階)
TEL 0766-21-2665
FAX 0766-21-2688

恒田国際特許事務所

弁理士 恒田 勇

〒930-0007 富山市宝町 1-3-17
サンコーポ 3階 (富山駅前)
TEL 076-433-0473
FAX 076-433-1225

広沢国際特許事務所

弁理士 廣澤 勲

〒930-0008 富山市神通本町 1-3-16
エスポワール神通 2階
TEL 076-433-7200
FAX 076-433-7204